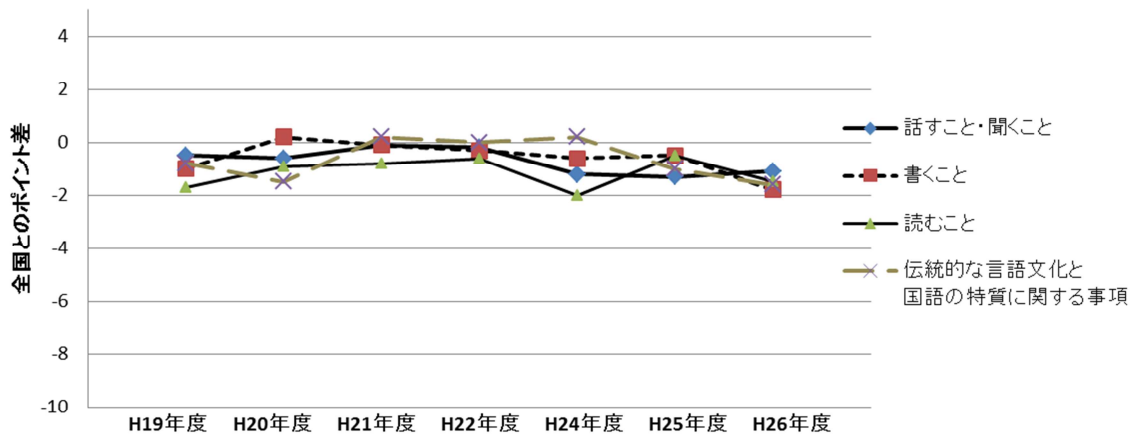


中学校国語における分析

領域別平均正答率の全国との比較【中学校】〔国語〕

すべての領域で全国平均を下回っており、平成26年度は国語A、国語Bともに「書くこと」と「読むこと」において全国との差が大きくなっている。自分の考えを具体的に書く活動や、資料から必要な情報を正確に読み取る活動を充実させることが大切である。

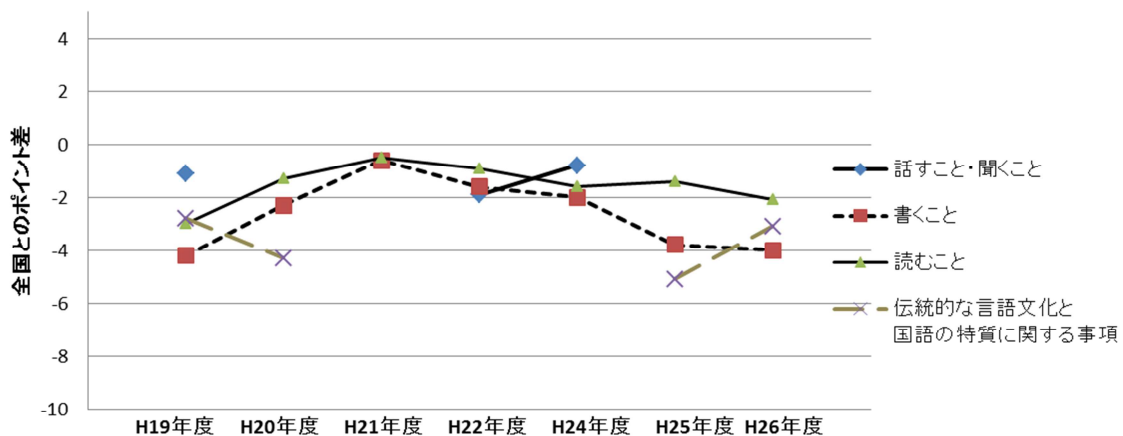
領域別平均正答率の経年比較(中学校国語A)



領域別平均正答率の経年変化(国語A)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度
話すこと・聞くこと	-0.5	-0.6	-0.1	-0.2	-1.2	-1.3	-1.1
書くこと	-1	0.2	-0.1	-0.3	-0.6	-0.5	-1.8
読むこと	-1.7	-0.9	-0.8	-0.6	-2	-0.5	-1.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	-0.8	-1.5	0.2	0	0.2	-1	-1.6

領域別平均正答率の経年比較(中学校国語B)



領域別平均正答率の経年変化(国語B)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度
話すこと・聞くこと	-1.1			-1.9	-0.8		
書くこと	-4.2	-2.3	-0.6	-1.6	-2	-3.8	-4
読むこと	-3	-1.3	-0.5	-0.9	-1.6	-1.4	-2.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	-2.8	-4.3				-5.1	-3.1

※「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、平成24年度以前は「言語事項（文法、漢字、書写等に関する内容）」。

中学校国語における改善の視点

話すこと・聞くこと^⑥の力を伸ばすポイント

○ 話し合いの目的を踏まえた上で、観点に沿って発言を整理しましょう

- 目的の達成を目指して話し合う力を身に付けるために、何について、いつまでに結論を出すのかを確認し、出された意見をどのような観点で整理すれば目的に合った結論を導くことができるのかなどを考えながら話し合いを行うようにすることが大切です。

書くこと^⑦の力を伸ばすポイント

○ 伝えたい事柄を明確にして、分かりやすく書きましょう

- 伝えたい事柄を整理して分かりやすく書く力を身に付けるために、目的や相手に応じて、取り上げる内容、それらを示す順番などを考え、よりよい文章にすることが大切です。その際、取り上げる内容は適切か、それらの内容を用いて書いた文章が、伝えたい事柄を正確に伝えるものになっているかなどの観点で、文章を読み直すことが重要です。

○ 根拠を明確にして、自分の考えを具体的に書きましょう

- 本や文章を読んで考えたことを具体的に書く力を身に付けるために、本や文章のどの部分に特に興味や関心をもったのかをはっきりと示した上で、なぜそこに着目したのか、その内容について自分はどのように考えるのかなどを丁寧に書くようにすることが大切です。例えば、引用した箇所と自分の考えとの関連、根拠として取り上げた内容の妥当性など、書いた文章を複数の観点から見直すことが重要です。その際、自分の考えに照らして、根拠として取り上げた引用や要約の量は適切かどうかを考えることが大切です。

読むこと^⑧の力を伸ばすポイント

○ 資料を読んで要旨を捉えたり、必要な情報を正確に読み取ったりしましょう

- 目的に沿って資料の内容を整理したり、自分の言葉で言い換えたりした際に、それらの内容が、使用した資料の内容を適切に取り上げているかどうかを確認する必要があります。

○ 文章の構成や表現の仕方を捉えて自分の考えをもつようにしましょう

- 書き手が文章を書こうとした目的や意図、それに応じた表現の工夫について丁寧に分析する必要があります。例えば、書き手はどのような効果を狙ってそのような表現の技法を使用したのか、それにより十分な効果は得られているのかなどの観点から文章を読むことが重要です。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項^⑨の力を伸ばすポイント

○ 言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにしましょう

- 辞書等を使って、なじみの薄い語や使用頻度の低いと思われる漢字などを積極的に調べる機会をつくる必要があります。その上で、調べた語句等を使ってみるのが大切です。